

私立大学図書館協会 2012年度東地区部会  
第2回役員会事務連絡会議事要録

日 時：2012年8月29日（水）11時45分～12時45分  
場 所：慶応義塾大学三田キャンパス 南校舎 412教室  
出席者：名簿のとおり（資料1）

配布資料：

議事次第

資料1：出席者名簿

資料2：東西合同役員会 東地区部会会務報告（4月～7月）

資料3：東地区役員校一覧

議事に先立ち、部会長校明治学院大学（秋月）より挨拶があった。  
東西合同役員会での報告について、部会関係を明治学院大学より、研究部関係を東京農業大学へお願いしたい旨の依頼があった。この後の議事進行は部会長校明治学院大学（萩原）が担当した。

議 事：

1. 第1回東西合同役員会での報告について（資料2）

部会長校明治学院大学（萩原）より、東西合同役員会での会務報告内容の確認及び報告者が下記のとおり提案され、了承された。

部会関係	部会長校（明治学院大学）	萩原 昌幸
研究部関係	研究部担当理事校（東京農業大学）	合田 豊二

特に以下の点について説明がなされた。

I 部会関係

（1）加盟校数について

2012年度の新規加盟校は、明日の総会で承認される。

（6）東地区部会館長会について

学生の意識や行動の変化について、秋月館長司会のもと、各図書館長との意見交換がなされた。

II 研究部関係

（6）研究分科会について

今年度は6研究分科会が年度末まで活動をおこなっているが、4分科会が休会し、

1 分科会が廃止となっている。研究分科会が諸般の事情により、以前のように活発に活動するのが難しい状況に陥っている。今後について検討しているところだが、分科会への申込の期限を前年度末に区切るのではなく、当該年度に入ってから申し込みを可能とするようフレキシブルに受付期間を設定したり、負担金について参加しやすい状況にするために、現状の参加費を考慮するなど、今年度検討をすすめたい。

## 2. その他

2015年度と2016年度の役員校の打診の状況について、部会長校明治学院大学(萩原)より報告があり、会場校についての意見交換がおこなわれた。(資料3)

2015年度と2016年度の協会の総会・研究大会の当番校と東地区部会総会会場校について、東地区部会長校が担当として決めなければいけない。

全国総会は北海道地区で開催してはどうか、また東地区部会総会については復興支援という意図から、東北地区で開催して、人が集まることでお役に立てることがあるのではないかということで、東北学院大学と東北福祉大学へ打診中である。

東北や北海道での開催について、関東から参加する立場からの意見をいただきたい。

西地区では地区協議会のローテーションにより当番校を割り当てているため各所で開催されているが、東地区の場合、東京近郊以外のところでの開催はあまり行われていなかった、難しいことがあるのかもしれない。今の状況のなかで打診をしているが、多くの大学の図書館関係者の方が出席できるのも条件のひとつだと思うので、考えをだしていただきたい。(明治学院大学：秋月)

### ・遠方の開催、平日の開催について

東地区部会総会は平日の授業と重なるために、大きな教室を確保するのが難しく、どの大学もなかなか引き受けられない。遠方で前泊が必要となると出張費を予算化しているところは予算の問題があるのではないか。総会については西地区と交代で開催しているため遠方という問題は生じない。

また、会場を提供するのが難しい場合、図書館見学はできなくなるが、予算を確保して有料のホールを借りるなど検討してもよいのではないか。

### ・6月の金曜日というのは動かせない決まりなのかどうか。平日は教室の確保が難しい。

2014年度の成蹊大学は土曜日なら可能ということで受けてもらっている。過去に部会総会の開催日が東と西でぶつかったことがあるので、例年、東と西で開催週をずらしている。土曜日開催だと出勤体制や休日出勤の問題が生じる大学もあるのではないか。

・例年首都圏での開催が多いが、遠方での開催になることについてはどうか  
西地区は移動時間を考慮して木曜の午後に役員会を開き、金曜の朝から総会を開いている。

遠方で2日間開催となると出張費等の予算の問題もある。

・ホールなどの利用について

公共的な施設を内々に打診したところ、予約受付は半年前だった。公共的な会場を数年先で確保するのは難しい。

東地区部会総会、研究講演会の参加者は260名程度なので、ホールでなく会議室でも収容できる。

現在打診中の大学からの返答を待つて、受けていただけるということであればその線で考えたい。しかし首都圏で開催したいという意見があれば考えたいが、いかがか。(明治学院大学：秋月)

東地区は規模の大きい大学が首都圏に集中しているため、業務が集まりがちだが、西地区のように何年に1回は東北地区や、北海道地区など決めるとやりやすいのではないか。

全国総大会や東地区部会総会にこだわらずに、何年かに一度首都圏からはなれてもいいのではないか。

複数校で担当していただくとか、会場は1大学でも、会場校としてのいろいろな業務を地区で担当していただく等が可能になれば、いくつかの大学と、首都圏の大学とが連携する方法も考えられてもよいのではないか

北海道地区の場合、多くの人数を受け入れることができる施設がある大学は少ないが、北海道に来ていただいたら、大学も図書館も見学していただきたいと思う。

北海道では、1校での開催は難しいが地区での開催については検討の余地はある。この件については、受皿となる北海道地区私立大学図書館協議会で検討することは可能である。(酪農学園大学：頭川)

総会に関してこれまでとは違う形の開催について検討していくということで進めさせていただく。北海道の札幌での開催であれば複数大学へお願いするなど、東地区部会総会である以上、できるだけ多くの地区、多くの場所で開催できるようにしていきたい。

(明治学院大学：秋月)

以上